



先人に感謝する心

校長 芝原 にはほ

9月には、2回の国民の祝日があります。「敬老の日」と「秋分の日」です。政府広報オンラインで、それぞれの祝日について調べてみると、次のように説明されています。

敬老の日 (9月の第3月曜日)

多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。
「敬老の日」は、昭和41年の祝日法改正により設けられた国民の祝日です。
「敬老の日」は、多年にわたり社会に尽くしてこられたお年寄りの方々に感謝するとともに、老後の精神的な安定を願うため、祝日とされたものです。(以下省略)

秋分の日 (秋分日)

祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ。
「秋分の日」は、昭和23年の祝日法の制定当初から設けられている国民の祝日です。祝日法の制定時には、春分の日と同様に、昼夜の長さが等しい日であり、季節上の一つの区切りになるという意味で、春分の日に対応するものとして採用されたとされています。

どちらも、人生の先輩に思いを馳せる日といえるのではないのでしょうか。敬老の日に放送されていたテレビのニュース番組では、65歳以上の方に「敬老の日」について、アンケートをしたところ「祝われたくない。」と答えた人が大多数だったと言っていました。「老人」とか「お年寄り」と言われると「まだ、そんな年ではない。」と言いたくなる気持ちはよく分かるし、「年寄りだから祝いましょう。」と言うのも、確かにどうなんだろうと思うところはあります。

しかし、私たちにとって、年長者を敬い、その功績に感謝するのは、とても重要なことだと思います。今、自分がここに生きていて、恵まれた生活を送ることができるのは、自分より先に生まれた自分の人生を精一杯生きたすべての先人のおかげです。



今年は、集落長さん方をお願いして、敬老祝い対象の皆様にご挨拶のメッセージを渡していただきました。その中に「いつもありがとうございます。」という書き出しで始まっていたメッセージがありました。私たちは、書く内容については一切指示していません。誰に言われるでもなく、自らこの言葉を書くことができる南界の子供に胸が熱くなりました。そして、それは、南界校区の皆様に見守られ、安心して育てているからこそだろうと思います。どうか、これからも、お元気で子供たちを見守ってください。

そして、いよいよ、校区合同大運動会が目前になりました。後述のように、子供たちはこれまで、暑い中、練習をがんばってきました。ぜひ、みなさん、おいでください。お待ちしております。

サンライフ通信 児童数確保対策委員会では、先般の「求む!空家情報」のチラシを見て、御連絡くださった物件について準備を進めています。町の空家バンクの制度も活用しながら、家主さんに多大なる御協力をいただいています。本当にありがたいことです。

また、南界小のホームページ(<http://www12.synapse.ne.jp/nankai/>)に児童数確保対策委員会のページを新設しました。アンケートの結果や委員会の規定、これまで配布したチラシ等を掲載しています。ぜひ、町内外に暮らす御親戚等にも宣伝して下さると助かります。11月には、体験入学を実施する予定です。